



## 観光おもてなし検討部会

### 1. 概要

大会開催期間中、国内外から訪れる観戦者に向けて、大阪の魅力的な地域資源（観光・食・体験等）をアピールし、来訪意欲を喚起するため、観光情報PR方法及び「おもてなし」プログラム等の検討を行う。

### 2. 構成メンバー

大阪府、東大阪市、公益財団法人大阪観光局、大阪府市長会・大阪府町村長会、大阪府商工会議所連合会、関西エアポート株式会社、一般社団法人関西経済同友会、公益社団法人関西経済連合会、近鉄グループホールディングス株式会社、国土交通省近畿運輸局、国土交通省近畿地方整備局、西日本旅客鉄道株式会社、東大阪商工会議所・花園ラグビー場みらい魅力活性化委員会

### 3. 活動報告

今年度については、以下のとおり、2回部会を開催し、観光情報PR方法及びおもてなしプログラム等について、意見交換や情報共有を行った。

#### ■ 第1回観光おもてなし検討部会

【日時】：平成29年12月5日

【場所】：大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）  
2階 咲洲ホール

【議事】：①観光周遊コースの検討  
②おもてなしプログラム等の検討  
③今後の進め方について

#### ■ 第2回観光おもてなし検討部会

【日時】：平成30年2月15日

【場所】：大阪府咲洲庁舎（さきしまコスモタワー）  
29階 会議室

【議事】：①観光情報PR方法の検討  
②おもてなしプログラム等の検討  
③今後の進め方について

#### （主な意見）

##### ○観光周遊コースの検討

- ・大阪の観光地、観光素材の洗い出しをし、ターゲットを絞り、短期滞在者、長期滞在者の基礎情報を把握した上で、プランを設定していく。
- ・神戸市や京都、奈良、和歌山の近隣県との連携しながら、体験型等、地元ならではのイベント等の発信。
- ・観光地、観光素材の見せ方について検討。

##### ○おもてなしプログラム等の検討

- ・ボイストラや指差しコミュニケーション等の独自製作ツールの情報共有していくべき。
- ・大会に向けた地域の盛り上げを進めていく上で、大会情報や花園開催試合国の情報について、セミナー等で情報共有していくべき。



## 観光おもてなし検討部会

### ① 観光情報PR方法

対象（ターゲット）		方向性
海外観光客 （欧米諸国等）	短期滞在者	・大阪の観光地等を地域別、種類別に紹介 ・交通アクセス情報の紹介
	長期滞在者	・大阪、近隣県の観光地等を紹介 ・交通アクセス情報の紹介
国内観光客		・大阪の新たな魅力を発信 ・魅力ある周遊コースの紹介

#### 【観光地・観光素材を抽出】

既存の観光情報サイトや「OSA K A周遊ガイド」「大阪ミュージアムWalker」「大阪観光局公式ガイドブック」「大阪産（もん）」「大阪産（もん）名品」「大阪産（もん）セレクション」等の冊子から抽出

#### ○今後の方針

RWC2019大阪・花園開催公式HPを活用した、観光情報の発信。

##### 公式ホームページ

###### 日本語ページ

- ・抽出した観光地、観光素材をHP内で紹介（リンク）、掲載
- ・観光周遊コースの紹介

###### 多言語ページ

- ・抽出した観光地、観光素材を地域別、種類別、交通アクセス情報をHP内で掲載

推進委員会参画団体・・・サイト周知、リンク掲載、観光地PRの協力を求めていく。  
神戸市（開催都市）・・・テストイベント等で連携し、盛り上げていく。  
近隣県（京都・奈良・和歌山）・・・観光協会等と連携し、盛り上げていく。  
大使館・・・開催都市情報提供、文化交流を推進していく。



## 観光おもてなし検討部会

### ② おもてなしプログラム等の検討

#### ● ホスピタリティ向上

##### 海外観光客（欧米諸国等）

###### ○ 対応方法

ホスピタリティツール  
関係情報一覧

周知

一般府民

飲食店

商店

###### ○ 今後の方針

- ・作成したホスピタリティツール一覧を公式HP内に掲載し、情報の周知を進める。
- ・海外観光客に対するおもてなし力をどのように向上していくか検討する。

・部会員の参画団体の既存ツールを集約。

・推進委員会HPに掲載

・正確な情報伝達  
・受入れ体制の強化

##### 国内観光客

###### ○ 対応方法

公式HPや駅、空港、観光案内所で観光地、観光素材をPR。

###### ○ 今後の方針

- ①観光情報PR方法  
公式HPを活用した、観光情報の発信。

#### ● 大会に向けた地域の盛り上げ方法

###### ○ 対応方法

- ・大会を身近に感じる機会の創出
- ・大会情報（開催日程、対戦カード、チケット販売等）の周知
- ・厳格な商標利用に対する理解の促進

###### ○ 今後の方針

- ・地域や地元飲食店、企業向けの自主的な勉強会やセミナーにおいて、大会情報や商標利用等、周知の機会の創出。
- ・推進委員会参画団体においても、セミナー等の開催時に、ラグビーワールドカップについてのチラシ配布等の協力を依頼。